

環境科学同窓会通信 第16号

Environmental Science Alumni Newsletter Vol. 16

目次/Content

1. 「環境科学院で学んだことが、今の自分に繋がっている」
網野 智美（オルガノ株式会社）
2. 「大好きになった北海道、なまら楽しかった研究生生活」
小林 直貴（信越化学工業株式会社 新機能材料技術研究所）

環境科学院で学んだことが、今の自分に繋がっている

網野 智美（オルガノ株式会社 2019 年 3 月修了）

私は、地球圏科学専攻 雪氷・寒冷圏科学コースで修士生活を過ごしました。学部時代、自身の研究テーマと理科教育の 2 つに取り組んでおり、研究に没頭できなかったことが心残りであったことや、実際に現地に赴き、自然環境を体感できる本格的なフィールドワークへの憧れから本コースへ進学することを決めました。指導教員の飯塚先生には、専門知識のない私を一から丁寧に指導頂き、本当にお世話になりました。研究ではグリーンランドのアイスコアに含まれる不溶性微粒子の解析に取り組みました。実際に自分でサンプリングした試料を研究することは叶いませんでしたが、野外行動実習やスイス実習、母子里実習と多くのフィールドワークを経験することができました。一方で、低温室でアイスコアの試料処理を行ったこと、分析室で黙々とサンプルを分析し続けたことも、大変ではありましたが今では良い思い出です。

現在は水処理プラントエンジニアリング会社で働いています。水処理業界に興味を持ったのも研究を進めていく中で超純水のブランク測定に真剣に取り組んだことがきっかけの一つです。現在の仕事と直結していませんが、修士生活で経験したことが今の自分に繋がっていると振り返りながら感じています。これからも修正生活での経験を糧に、水処理技術で社会に貢献できるように日々精進していきたいと思っています。



（スイス実習でのローヌ氷河観測での 1 枚。筆者は写真左、右は同コースの羽月さん）

大好きになった北海道、なまら楽しかった研究生生活

小林 直貴（環境物質科学専攻 2014 年修士課程修了）

信越化学工業株式会社 新機能材料技術研究所

私が北海道を大好きになった理由は、土地の空気感、ジンパ、やき弁、ガラナ、サッポロクラシック、など挙げればキリがないのですが、全ては2年間の研究生生活が充実したものであり、素敵な思い出として残っているからだと思っています。

2年間の研究生生活で最も印象に残っているのは、論文発表のネタとなる現象を発見したときの高揚感です。当時はM1の中間発表前でしたが、メインテーマの進捗が悪く、何か別のネタを探すために実験を繰り返していました。結果として、行き詰まった時に遊び感覚で試した実験が思わぬ発見に繋がったのですが、その時は嬉しくて深夜4時頃に走って帰宅したことを覚えています。この発見がなければ、その後の研究生生活は全く違ったものになっていたであろうし、その後の人生も変わっていたと思うので、私にとって人生最大の発見だったと思っています。先輩方の先行研究に対する感謝と、たまたま引き当てた自分の運に感謝したいです。また、この成功体験を得たことで、現在も研究開発を行う上で”泥臭さ”と”遊び心”は大切にするようにしています。

小西先生のご好意で沢山の学会に参加させて頂き、国内・海外色々な場所に行けたことも、とても楽しい思い出です。米国・ユタ州や中国・西安にも連れて行って頂きましたが、1番は北見に特急で5時間かけて行った学会が印象に残っています。北海道の広さに圧倒されました。また、論文発表の第一著者を頂けたことは忘れられない思い出であり、小西先生には深く深く感謝しております。

環境科学院での2年間では、小西先生の学生の自主性を重んじる御指導のおかげで、私に欠けていた柔軟な発想を養うことができたと思っています。現在は民間企業で、半導体材料の開発に携わっています。とてつもないスピード感で研究開発を行なっていますが、小西研で学んだ”面白そうなことは取り敢えずやってみる”の遊び心を忘れず、楽しく仕事ができます。

最後に、修士の研究生生活が楽しく、少しでも博士課程への進学が頭にチラついた学生さんは、博士過程へ進むことをお勧めします。歳を重ねるごとに自由のきくうちに挑戦しておけば良かったと思うこともありますので、恐れずに挑戦してみてください。私はいずれ北海道に移住することを夢見て、日々の仕事を頑張っていきたいと思っています。



小西先生とユタ大学にて

発行：環境科学同窓会事務局

〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目
北海道大学 大学院地球環境科学研究院内

Fax: 011-706-4867

e-mail: home-coming@ees.hokudai.ac.jp

Issuer: Environmental Science Alumni Association Office,
Graduate School of Environmental Science, Hokkaido
University

N10 W5, North Ward, Sapporo 060-0810, JAPAN

Fax: 011-706-4867

E-mail: home-coming@ees.hokudai.ac.jp

バックナンバーは同窓会HPでご覧に頂けます。

www.ees.hokudai.ac.jp/alumni/main/liaison.html (日本語)

You can visit our back issues page here:

www.ees.hokudai.ac.jp/alumni/main/liaison-e.html (English)

環境科学院 ホームカミングデー

9月24日(金) 15:00～

修了生講演会 オンライン開催！

学生生活・就活・現職

現役学生・教職員はメールでお送りするWebex招待URLよりご参加頂けます。

同窓会員で参加ご希望の方は、下記へ事前にお問合せ下さい。

同窓会事務局：home-coming@ees.hokukdai.ac.jp

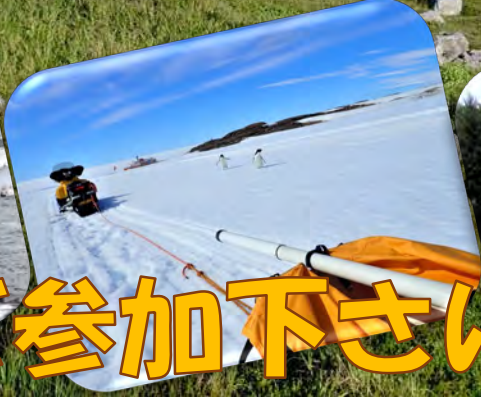
ダナンジェイ レグミさん (15:00～)
ネパール観光局CEO (※英語講演)

岩崎 藍子さん (15:25～)
東北大学大学院生命科学研究科付属
浅虫海洋生物学教育研究センター助教

西川 慶祐さん (15:45～)
大阪市立大学大学院理学研究科
物質分子系専攻 講師

小田 正人さん (16:05～)
札幌市豊平土木センター

※進行状況により開始時刻は前後することがあります。



皆さん是非ご参加下さい！



GSES Homecoming Day

September 24th

3 pm

**Alumni/Alumnae
Online Lecture**



Student life, Job hunting, Current work

Current students, faculty, and staff members can join us from your Webex Email invite. No reservation required.

Our Alumni Association members:
Please contact home-coming@ees.hokudai.ac.jp for the Webex Email invite in advance.

Dr. Dhananjay Regmi (3 pm)

CEO, Nepal Tourism Board (*English lecture)

Dr. Aiko Iwasaki (3:25 pm)

Assistant Professor, Research Center for Marine Biology, Graduate School of Life Sciences, Tohoku University

Dr. Keisuke Nishikawa (3:45 pm)

Lecturer, Division of Molecular Materials Science, Graduate School of Science, Osaka City University

Mr. Masato Oda (4:05 pm)

Toyohira Ward Public Works Center, Sapporo

**Start and end times may vary by presenter.*



Join us for the first ever virtual Homecoming!